

道路6 国道11号の二次改築(徳島県)

| No. | 資料名 | ストック効果に関する記述 |
|-------|--|---|
| 徳島1 | 建設省四国地方建設局徳島工事事務所編「徳島工事五十年史」(建設省四国地方建設局徳島工事事務所、1998年)、282頁 | 国道11号吉野川バイパス (中略) 吉野川バイパスは前述の渋滞対策のほか、その後、計画された四国縦貫自動車道や本州四国連絡道路とのネットワークを形成し、地域活性化に資するためにも欠くことができない道路となっている。 |
| 徳島42 | 徳島市史編さん室編「徳島市史 第三卷」(徳島市教育委員会、1983年)、511頁 | 吉野川橋と吉野川大橋 (中略) 昭和四十年、歩行者や自転車の安全を確保するため、橋の両側に幅員二メートルの歩道橋が併設された。その後も自動車の通行が激増し、橋上において交通が渋滞して、最早この橋だけでは対応できなくなった。そのため昭和四十七年におよそ一キロメートル下流に橋長一一三七メートル、幅員一二・二五メートルの鉄筋コンクリート鋼床版箱桁式の吉野川大橋が架けられた。これによって吉野川橋の交通渋滞も相当緩和されるようになった。 |
| 徳島101 | ふるさと徳島編集委員会編「ふるさと徳島」(徳島市市民生活課、1988年)、121-122頁 | 吉野川大橋 徳島市東吉野町二町目と川内町の吉野川に架かる吉野川大橋は、全町一一三七メートル、本四架橋以外では四国一の長さを誇る。吉野川橋の交通渋滞を解消し、さらに徳島空港や大鳴門橋、明石海峡大橋につながる幹線道路の国道一一号バイパス事業の一環としてつくられた。(中略)上りと下りの二本の橋の全面開通によって、橋周辺の渋滞は緩和されたが、昼間の交通量は約一万台増加、四万二〇〇〇台をかぞえるようになった。なお川内町など一一号バイパスの周辺には各種の商店、事業所等が進出、田園地帯は急速に変貌を遂げつつある。 |

道路6 国道11号の二次改築(徳島県)

| No. | 資料名 | ストック効果に関する記述 |
|-------|---|--|
| 徳島263 | 国土交通省四国地方整備局編「一般国道11号徳島インター関連(事後評価)」(令和元年度第3回事業評価監視委員会資料、2019年)、5-8頁 | <p>国道11号徳島インター関連の事業効果</p> <p>(1)混雑緩和 四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT)間に並行する国道11号の混雑度はおおむね減少。</p> <p>(2)沿線地域の安全性向上 徳島インター関連および四国横断自動車道が開通し、国道11号から四国横断自動車道へ約1割の交通量が転換。 全国交通事故件数が約18%減少している中、国道11号・徳島IC以南では約15%の減少にとどまっているが、徳島IC～鳴門IC間の死傷事故件数及び死傷事故率とも約18%の減少率となり、全国の減少率並みとなっている。</p> <p>(3)南海トラフ巨大地震発生時における救援・啓開活動支援 国道11号は、南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水・建物倒壊により通行が遮断・阻害され、徳島市中心部への被災地への救援救助、物資輸送や復旧支援への支障が想定。 徳島ICおよび四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT)の開通により、徳島市中心部に近い徳島ICの利用により、迂回時間の短縮や、安全で確実な通行確保が可能となるほか、徳島ICを起点とした救援・啓開活動が可能。 四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT)では、沿線市町と連携して、高速道路区域を活用した津波避難所(11箇所)が設置され地域防災・安心感の向上に貢献。</p> <p>(4)地域産業の活性化～LED産業～ 徳島IC周辺にはLED関連企業が立地しており、徳島県のLEDは全国の約6割を出荷。 高速道路の整備後には、IC周辺企業の製造品の出荷が増加、徳島東部地区の出荷額は徳島県全体の伸びよりも大きい約13%の増加。 徳島インター関連および四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT)は、主要産業を支える交通基盤として地域活性化に寄与。</p> |
| 徳島263 | 国土交通省四国地方整備局編「一般国道11号徳島インター関連(事後評価)」(令和元年度第3回事業評価監視委員会資料、2019年)、9-10頁 | <p>国道11号徳島インター関連の事業効果</p> <p>(5)地域産業の活性化～すだち～ 徳島県の名産である「すだち」の需要が近年高まっており、大阪府中央卸売市場におけるすだちの取扱額は約1.2倍に増加。 大阪府中央卸売市場におけるすだちの取扱量は、徳島県産がほぼすべてを占める。 徳島インター関連および四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT)は、徳島県の名産品の出荷を支える交通基盤として地域活性化に寄与。</p> <p>(6)地域産業の活性化～観光～ 徳島県においてもインバウンドの増加が大きく、県内の外国人宿泊者数は、徳島インター関連・四国横断自動車道(徳島IC～鳴門JCT)開通以降には約3倍の伸び。 NEXCO西日本によるインバウンド向け割引企画による外国人周遊観光の促進などと合わせ、地域の観光活性化に貢献。</p> |

道路6 国道11号の二次改築(徳島県)

| No. | 資料名 | ストック効果に関する記述 |
|-----|---|--|
| 四国2 | 建設省四国地方建設局監修「四国地方建設局三十年史」(四国建設弘済会、1988年)、468頁 | 国道11号吉野川バイパス (中略) 先述の吉野川大橋を含む4.1km区間は、慢性化していた徳島市北部の交通渋滞を大幅に改善し県民の期待どおりの成果を上げ、道路の持つ機動性、重要性が再認識されたとして、「日本の道100選」の1つに選定された。 |